

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
東京都都市整備局住宅政策推進部で中間評価を実施	計画期間（H27～H32）の中間年度の翌年度
公表の方法	東京都ホームページで公表

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>都営住宅の耐震化率：公営住宅等整備事業や公営住宅等ストック総合改善事業の実施により93.2%となっており、当初現況値と比較し16.2%改善されている。耐震化により都営住宅の防災機能が高まり、居住者の安全性の向上はもとより、都営住宅の有する地域防災拠点機能が向上した。 サービス付き高齢者向け住宅等の整備：地域優良賃貸住宅整備事業による整備等により19,714戸となっており、6633戸が新たに整備された。多様なニーズに応じたサービス付き高齢者向け住宅等の供給が促進され、高齢者の居住の安定確保が図られた。 都営住宅・公社住宅の再建に伴う創出用地のうち福祉インフラ整備への活用：都営住宅のストック再編に伴う公営住宅等整備事業の実施等により約14.3haの用地を創出した。これにより、地域特性に応じた少子高齢化に対応する施設整備等が図られた。 子育て世帯向け公共住宅の募集数：募集数は16,796戸となっており、着実に取組みの成果があがっている。都営住宅等において入居収入基準の緩和や、期間付き入居募集などの優先入居を実施することにより、子育て世帯の居住の安定確保が図られた。 区内における空き家の活用棟数（大田区）：活用棟数は11棟となっており、空き家再生等推進事業の活用等により着実に取組みの成果があがっている。空き家を活用し障害者向けグループホーム等の地域貢献活動が行われ、空き家の解消と地域の活性化が図られた。 区内における住宅に対する空き家の棟数（割合）（豊島区）：不良空家所有者の資金不足を補完し、不良空家の除却が促進され、豊島区の安全安心なまちづくりの形成に寄与した。 区内における住宅に対する空き家の棟数（割合）（荒川区）：荒川区内の空き家の棟数は14棟となっており、空き家再生等推進事業の活用等により当初現況値と比較し9棟が減少している。危険老朽空家住宅の除却が進み、安全性の確保や生活環境の向上が図られた。</p>
--------------------------------------	--

<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>都営住宅の耐震化率：周辺地域を含め良質な住環境の整備が図られており、快適な市街地の形成に寄与している。 サービス付き高齢者向け住宅等の整備：地域密着型サービス事業所等の併設など、地域の要介護者等のサービス供給拠点の整備に寄与している。</p>
--	--

○特記事項（今後の方針等）

<p>都営住宅の耐震化率：併存店舗付住棟の耐震化を促進させるため、店舗買取制度の導入や説明業務の委託化の強化により、合意形成を加速させる。 サービス付き高齢者向け住宅等の整備：説明会や個別訪問により補助事業等の普及啓発を強化すると共に、補助制度の見直しをするなど、サービス付き高齢者向け住宅等の供給を促進する。 区内における空き家の活用棟数（大田区）：一定の実績は積まれたが、引き続き広報に努め、事業を促進する。 区内における住宅に対する空き家の棟数（割合）（荒川区）：所有者等へ引き続き適正管理を促していく。 区内における住宅に対する空き家の棟数（割合）（葛飾区）：今後も継続して空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく空家等対策事業を推進していく。 ※各指標共通 ・社会資本整備総合交付金システムでは、現況値、目標値には小数点以下の数値入力ができないことから整数としている。 ・中間目標値は計画策定時に設定したものではなく、このたびの中間評価のために次のとおり設定した。中間目標値：当初現況値と最終目標値の差を設定した期間（年数）で除し、29年度までの期間（年数）を乗じて得た数値 ・各指標の現況値、中間目標値、最終目標値、中間実績値は、目標値と実績値に差が出た要因欄に〔参考〕として示したとおり。</p>
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	中間目標値	%	〔参考〕住宅の耐震化率 当初現況値：79.8%（H21年度）、中間目標値：設定なし、最終目標値：95%、中間実績値：－
	中間実績値	%	
2	中間目標値	90%	〔参考〕都営住宅の耐震化率 当初現況値：77%（H25年度末）、中間目標値：90.1%、最終目標値：100%、中間実績値：93.2%
	中間実績値	93%	
3	中間目標値	%	〔参考〕住宅の省エネルギー化率 当初現況値：46%（H22年度）、中間目標値：設定なし、最終目標値：100%、中間実績値：－
	中間実績値	%	
4	中間目標値	441棟	〔参考〕区内における住宅に対する空き家の棟数（割合）（豊島区） 当初現況値：451棟（H27年度）、中間目標値：441棟、最終目標値：426棟、中間実績値：446棟 豊島区内の空き家の棟数は446棟であり、当初現況値と比較して5棟改善されたが、不良空家所有者の権利関係が複雑であり、所有者全員の承諾を得ることが困難な事などの要因により目標値と差が生じている。
	中間実績値	446棟	
5	中間目標値	6%	〔参考〕区内における住宅（一戸建住宅）に対する空き家の割合（葛飾区） 当初現況値：6.5%（H28年度）、中間目標値：6.4%、最終目標6.1%（H32年度）、中間実績値：6.4%
	中間実績値	6%	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
6	中間目標値	%	〔参考〕区内における住宅に対する空き家の棟数（割合）（墨田区） 当初現況値：0.9%（H25年）、中間目標値：設定なし、最終目標値：0.8%（H30年）、中間実績値：-
	中間実績値	%	
7	中間目標値	6棟	〔参考〕区内における空き家の活用棟数（大田区） 当初現況値：4棟（H28）、中間目標値：6.5棟、最終目標値：14棟、中間実績値：11棟
	中間実績値	11棟	
8	中間目標値	13棟	〔参考〕区内における住宅に対する空き家の棟数（割合）（荒川区） 当初現況値：23棟（H27年）、中間目標値：13.8棟、最終目標値：0棟、中間実績値：14棟
	中間実績値	14棟	
9	中間目標値	%	〔参考〕高齢者が居住する住宅のバリアフリー化率 当初現況値：40%（H20年）、中間目標値：設定なし、最終目標値：80%（H32年）、中間実績値：-
	中間実績値	%	
10	中間目標値	18787戸	〔参考〕サービス付き高齢者向け住宅等の整備 当初現況値：14,181戸（H25年度末）、中間目標値：18,787戸、最終目標値：2万8千戸（H37年度末）、中間実績値：19,714戸
	中間実績値	19714戸	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
11	中間目標値	1200戸	〔参考〕子育て支援住宅認定制度による整備 当初現況値：－、中間目標値：設定なしから1,200戸（H29年度）と変更、最終目標値：1,200戸（H29年度）から10,000戸（2025年度）と変更、中間実績値：－
	中間実績値	戸	
12	中間目標値	%	〔参考〕長期修繕計画に基づく修繕積立金額を設定している分譲マンション管理組合の割合（25年以上の長期修繕計画に基づく修繕積立金額を設定） 当初現況値：32%（H23年度）、中間目標値：設定なし、最終目標値：70%、中間実績値：－
	中間実績値	%	
13	中間目標値	%	〔参考〕長期修繕計画に基づく修繕積立金額を設定している分譲マンション管理組合の割合（新築で30年以上の長期修繕計画に基づく修繕積立金額を設定） 当初現況値：49%（H20年度）、中間目標値：設定なし、最終目標値おおむね100%、中間実績値：－
	中間実績値	%	
14	中間目標値	9ha	〔参考〕都営住宅・公社住宅の建替えに伴う創出用地のうち福祉インフラ整備への活用 当初現況値：－、中間目標値：9.0ha、最終目標値：30ha超（H36年度末）、中間実績値：約14.3ha（開設又は公募及び保育ほうれんそうで情報提供に至った候補地）
	中間実績値	14ha	
15	中間目標値	4戸	〔参考〕活用を推進すべき区域内の空き家住宅の戸数（品川区） 当初現況値：0戸（H26年）、中間目標値：4戸、最終目標値：8戸、中間実績値：0戸 品川区内の公共的施設として活用した空き家住宅は実績がなく、対象物件の規模や立地条件等、ニーズのミスマッチにより事業化に至らなかった。
	中間実績値	0戸	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
16	中間目標値	%	〔参考〕リフォーム実施率 当初現況値：年2.4%（H20年）、中間目標値：設定なし、最終目標値：年5%（H32年）、中間実績値：－
	中間実績値	%	
17	中間目標値	%	〔参考〕共同住宅の共用部分におけるバリアフリー化率 当初現況値：20%（H20年）、中間目標値：設定なし、最終目標値：30%（H32年）、中間実績値：－
	中間実績値	%	
18	中間目標値	%	〔参考〕既存住宅取得率 当初現況値：35%（H20年）、中間目標値：設定なし、最終目標値：50%（H32年）、中間実績値：－
	中間実績値	%	
19	中間目標値	%	〔参考〕新築住宅における住宅性能表示の実施率 当初現況値：27%（H21年度）、中間目標値：設定なし、最終目標値：50%、中間実績値：－
	中間実績値	%	
20	中間目標値	%	〔参考〕新築住宅における認定長期優良住宅の割合 当初現況値：3.8%（H21年度）、中間目標値：設定なし、最終目標値：20%、中間実績値：－
	中間実績値	%	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
21	中間目標値	15400戸	〔参考〕子育て世帯向け公共住宅の募集数 当初現況値：－、中間目標値：15,400戸、最終目標値：2万2千戸（H23～32年度までの累計）、中間実績値：16,796戸（H23～29年度までの累計）
	中間実績値	16796戸	
22	中間目標値	%	〔参考〕最低居住面積水準未達率 当初現況値：8.4%（H20年）、中間目標値：設定なし、最終目標値：ほぼ解消（H32年）、中間実績値：－
	中間実績値	%	